

統合研究院・国際ワークショップ

～安全安心を目指す ”セキュアマテリアル”～

2007年3月22日(木)

9:30～17:30

東工大 大岡山キャンパス
デジタル多目的ホール
(東京都 目黒区 大岡山 2-3-1)
東急目黒線・大井町線 大岡山駅下車

<趣旨>

素材開発は絶えず日本経済を牽引する役割を担ってきた。最近の経済の回復においてもフラットパネルディスプレイ、低公害車開発、燃料電池、情報家電など、枚挙にいとまがない。一方、生活者の安全と安心を重視する機運が高まり、人と人工物が共存する社会において生活を脅かすリスクに対する監視が強まっており、製造企業に対する責任波及も無視できない状況が生じている。

本国際ワークショップでは、社会科学、工学、企業経営などの分野で活躍する内外の講師を招いて、科学技術の安全学、リスク管理の方法、素材安全性に関わる課題について描き出し、安全安心に対する価値観に基づいた素材開発の取り組み、目指すべき目標を問い直す。

<< プログラム >>

9:30 ～ 10:00

開 会 近藤 建一 (東工大 応用セラミックス研究所)

問題提起 石川 正道 (東工大 統合研究院)

講演会

I. 科学技術の安全学(10:00 ～ 11:45)

「安全と安心の間」

村上 陽一郎 (国際基督教大学)

「米国における新技術リスクの社会マネジメント」

C.T. ヒル(ジョージメイソン大学)

II. リスク管理の方法(13:00 ～ 14:45)

「マルチリスク社会での技術政策のあり方」

倉田 健児 (北海道大学)

「リスクのモノサシ」

中谷内 一也 (帝塚山大学)

「企業における社会的責任(CSR)」

松田 幸大 (三菱商事)

III. 素材安全性と課題(15:00 ～ 16:10)

「電気・電子製品中の化学物質の管理手法」

岩本 浩 (ソニー株式会社)

「建築物におけるコンクリートの強度発現と調合管理」

榊田 佳寛（宇都宮大学）

IV. パネルディスカッション(16:45 ～ 17:45)

「“安全安心” という材料開発の目標および取り組み」

C.T. ヒル, 倉田 健児, 中谷内 一也, 松田 幸大, 近藤 建一(敬称略)
(司会進行 石川 正道)

閉会

懇親会(17:30 ～)

会費 3,500 円、生協第1食堂2階(西9号館裏手)

主催：東京工業大学 統合研究院

共催：東京工業大学 応用セラミックス研究所

参加費：無料

懇親会費：3,500 円

お申し込み方法：統合研究院のホームページからお願いします。

次のURLから、必要事項をご記入の上ご送信下さい。

<http://www.iri.titech.ac.jp/contact/form.html>

- ・「お問い合わせ種類」は、『シンポジウムなどの申し込み』をご選択下さい。
- ・懇親会(有料)への参加については、「お問い合わせ内容」にその旨ご記入下さい。